

2018-7-30

ふじさわ・九条の会ニュース

No.53



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

日本国憲法 第2章 戦争の放棄

第9条 ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

平和を創り出す市民の力 核兵器禁止条約から米朝首脳会談へ

今から81年前の1937年7月7日、盧溝橋に響いた一発の銃声から日中全面戦争が始まりました。ですから七夕の日は、ずっと苦い記憶を噛みしめる日でした。ところが昨年、その七夕の日に国連で「核兵器禁止条約」が国連全加盟国の2/3(122カ国)の賛成で採択されました。このとき七夕は、苦い記憶を踏まえて希望に踏み出す日になったわけです。

この条約は、日本の被爆者運動をはじめとする世界の市民運動が奔流となって世界を動かし大国の圧力をはねのけて作り出した成果です。



写真)核兵器禁止条約の採択が決まった歓喜の中で握手を交わす被爆者のサーロー節子さん(中央)と藤森俊希さん(その左)=2017年7月7日、ニューヨークの国連本部

それから1年が経ちました。その前半は、北朝鮮の軍事的脅威を理由に、核禁条約を無にする逆流が押し寄せました。その先頭に立って脅威を「国難」と呼んで煽っていたのが安倍政権でした。ところが、より深刻な危機に直面していた韓国は、文在寅政権が南北首脳の直接対話に方向転換し情勢を劇的に変化させました。文大統領は、北朝鮮の金正恩氏と直接対話するだけでなく合意文書を成立させ、さらに米国に働きかけ、史上初の米朝首脳会談も実現しました。アメリカと北朝鮮は休戦状態にある敵国同士ですから、この会談と合意文書の成立は、歴史的意義を持ちます。南北・米朝の間の合意の核心は、朝鮮戦争の完全な終結を基礎に朝鮮半島全体の非核化を目標に掲げたことでした。

韓国の文大統領の方向転換が実現したのは、やはり文政権が、韓国の市民運動が主導した「キャンドル革命」によって成立したからだということになりましょう。文政権は韓国の民主主義が作り出した政権なのです。市民運動の立場から言えば、「文大統領は何をするか」ではなく「文大統領に何をさせるか」の問題なのです。

核禁条約を成立させたのは世界の平和を希求する市民運動の“圧力”でした。逆流も強烈ですから、122カ国が賛成したのに批准まで進んだのは11カ国に留まっています。市民運動は、「ヒバクシャ国際署名」をてこにそれぞれの国の中で批准に向けた“圧力”を強めつつあります。

安倍政権は、国連で核禁条約の議論が始まったときから一貫して背を向け、被爆者から「あなたはどこの国の首相か」と問われても平然と無視し続けてきました。けれども、核禁条約を日本国憲法と読み比べるなら、両者の基本的な立場がほとんど重なるものであることがわかります。憲法に忠実な政府なら、政治家個人がどういう信条を持とうと、憲法の要請として、核禁条約の成立に主導的な役割を果たさねばならなかったはずですから、安倍政権の核禁条約無視の姿勢は、そのまま日本国憲法無視の姿勢と重なります。「国民の声に従え」という民主主義、「憲法の要請に応えよ」という立憲主義が鋭く問われています。

核禁条約は、朝鮮半島情勢に平和への大きな展望を切り拓きました。被爆者を始め、市民運動を進めてきた人々は異口同音に「南北朝鮮と日本が同時に核禁条約に加入すること」を提唱しています。私たちも、政権に何をさせるかを問題にし、突きつけていく運動を、歴史を拓く“主役”の自覚を基礎に、いっそう強めていきましょう。(鴨志田 直紀)

安倍9条改憲NO！全国統一署名

安倍9条改憲NO！の全国統一署名は、6月7日に1350万筆が立憲野党に渡されました。引き続き取り組みで7月には1800万筆に達したものと思われます。この署名数は通常国会での改憲発議を押しとどめることに大きく貢献しました。ふじさわ・九条の会では8つの地域九条の会が工夫を凝らして集めた分も含めて7月半ばまでに約7500筆。しかし安倍政権はあくまで年内の発議にこだわっており、秋の臨時国会でも発議を断念させるために、3000万を目指して9月末まで署名を継続することが呼びかけられています。(島田 啓子)

『今回の署名活動は街頭でやろう』

江ノ電沿線九条の会

江ノ電沿線九条の会では、前回の戸別訪問の失敗から、今回の署名活動は街頭でやろうと決めて、10月4日から始めた。場所は小田急江ノ島駅前の弁天橋の上。世界中から観光客が江の島に来ていることを実感する日々だった。マイクを使わずに、短い言葉で訴えている。外国人には片言の言語と身振り手振りでも解ってもらえる。難問をふっかけてくる相手にも動ずることなく対話ができるのは、30回以上続けた憲法学習会の成果だ。日々新たな体験をする中、飯田さんの薦めで「エピソード集」にまとめてみることにした。冊子には31のエピソードを載せたが、その中で最も江の島らしい愉快的エピソードを紹介する。

☆私の「9条改憲は戦争への道です」の声にうん、うんと頷きながら歩いている青年と目が合った。そばに行くと、「俺、絶対戦争反対だから」と署名に応じてくれた。書きながら「俺、広島出身だからちゃんと勉強してるし、母

ちゃんも反対だから書くよ」と。あれこれ話しているうちに「あ～腹減ったなあ～」と言い出したので、「お婆さんの家に来ればシラス丼ご馳走できるけど、今これやってるから無理だなあ」というと「じゃあ俺たちが署名やってあげるから、ご馳走してよ」というなり私の持っていた署名版を手に、「さあさ、本日も限定の平和イベントだよ、今日だけだよ、署名してね！」と橋の真ん中で呼び掛け始めた。あつけにとられているうちに若者の人だかりが出来て署名しているではないか。10分ほどの短い時間に10筆も。私たちは感激して若者3人にシラスをプレゼントしてあげた。青年たちの爽やかさに大きな拍手を贈った。

(折原 美知子)



江ノ島 弁天橋で署名

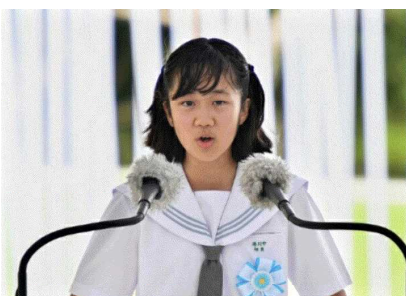
6・23慰霊の日の相良倫子さんの詩から

彼女のB4(小さな字で)1枚の詩は、文字や映像で見ている人が多いと思います(まだ見てない人は、琉球新報の写真・映像コーナーで今も見られます。=ユーチューブ)。映像でしたが、私の第一印象は、「ひめゆり記念館で」読んだ&写真で

見た少女たちのイメージでした。真正面を向いた、一生懸命の、切実なさわやかさでした。

特に、「私は生きています…私は今、生きています…みんな、生きていたのだ…今と一緒に、生きています…私は、今を生きる…これからも、共に生きていこう…私は今を、生きていく」の変化は面白く、とても強い意思を表している。

よく言われる「命(ヌチド)が宝」が沖縄には、子供たちの中にも生きていけるといえます。沖縄の今の自然や社会状況を認識し、戦争の中で死の島と化しても、みんな生



2018年6月23日沖縄慰霊の日
自作の平和の詩「生きる」を朗読する
相良倫子さん

☆3ページ下に詩の最後を掲載

沖縄の思い&文化を考える

きていてこれからも共に生きていこうとしている沖縄を、とても強く表していると感じました。

沖縄の人々は結構違いもあります、でも沖縄の歴史とは離れられないと実感した。

妻が沖縄に暮らして10年、私も最近は1週間近く住んでみて、沖縄も結構違いがあるとみています。那覇など南部は中部と違い、基地など意識しない(最近はオスプレイなどヘリが飛ぶが?)。神奈川の街と変わらない?意識は生活が第一になる?小中高とスポーツにはまり、体育会系の人も多い。

しかし。亀甲墓というでっかいお墓(この前で一族が先祖を迎え宴会、戦争中は米軍爆弾の避難地に)、モアイとか結という、一族や地域とのちよいつながり=助け合いが一番残る地域(仕事がなくとも食べていける?)。先祖の戦争や薩摩&ヤマトによる支配の歴史を忘れない!?

お婆あ&おじいの思い出を忘れない。それはひめゆり記念館らが体験者から聞いた話を若手が引き継ぐ(長崎でも始まっています)事に繋がっているのかなと思います。わたしたちヤマトの市民も身近な戦争体験や施設を残していく平和活動を考えたいと思います。(久保 博夫)

ヘイトデモ、ヘイトスピーチに立ち向かう

サンパール広場に掲示されていた、市民活動を禁止する看板が自由法曹団の抗議によって撤去された。またフラッシュモブ裁判を契機として、6月海老名市議会で駅前自由通路での集会等一律禁止条例が改定された。このような市民の表現行為の、自由度を高める事態を脅かすことが起こっている。

6/3はヘイトスピーチ対策法施行2年であるが、早くもその限界が露呈している。罰則がないことから、ヘイトデモは止まらず且ツイッターなどネット上の差別扇動は野放し状態である。川崎市は対策法を受けて「公の施設利用ガイドライン」を策定した。だが6/3に川崎市教育文化会館でのヘイト団体主催の集会に、市は会館の使用を許可した。そこでは「ウジ虫、ゴキブリ、日本から出ていけ」という発言があったということである。また在日コリアンを差別する落書きが市内で50件発生している(6/25神奈川新聞論説)。

市はガイドラインに該当しないとして、使用許可を出したということだが、表現の自由を忖度して適用を見送ったということだろうが、明らかな人種差別であり人権侵害であるヘイトデモ、スピーチを憲法上の表現の自由と秤量するのは明らかな間違いである。「シャーロットビルでの白人至上主義者によるカウンター市民の轢殺事件で、州知事は白人至上主義者に対して『お前たちの居場所は何処にもない』と断じた。それがスタンダードではないのか」(同上)。

更に6/27には新宿区が区立公園の使用基準を変更し、デモの出発地にできる公園を4カ所から1カ所に制限することを決めた。新宿では新大久保のコリアンタウンを標的としたヘイトデモが頻発し、カウンター市民が阻止に動いた。新宿区の制限はヘイトデモを理由として、市民のデモそのものを制約するものとなりかねない。折しもサンパール周辺は改造工事中である。完成後に市民の表現行為が決して制限されることのないように、私たちは注意を怠らないようにしよう。また藤沢市に「人種差別禁止条例」の制定を求めよう。(吉塚晴夫)

2018年6月23日 沖縄慰霊の日 (2頁記事参照)
相良倫子さんの平和の詩「生きる」の終わりの部分

摩文仁の丘の風に吹かれ、
私の命が鳴っている。
過去と現在、未来の共鳴。
鎮魂歌よ届け。悲しみの過去に。
命よ響け。生きゆく未来に。
私は今を、生きていく。

寄稿「神奈川県議会の政務活動費をただす会」 私たちの税金、何にでも使っているの？ 「お小遣い」月53万円！

タクシー代もガソリン代も競馬場の駐車券もOK？

富山県議会の政務活動費をめぐる不正報道を聞いて、神奈川県議会ではどうなっているのだろうと「神奈川県議会の政務活動費をただす会」を立ち上げ、県の情報公開制度を活用して政務活動費や常任委員会・特別委員会の支出伝票、執行伺い票など5万枚以上の書類を調査しました。

私たちが支出伝票を見てまず驚いたのは、多くの支出伝票に使用した議員名が無い。利用内容が明記されていないことです。

たまたま名前が明記されて分かったのですが、牧島功県議(横須賀市選出)

を利用し、その月はタクシー代が50万円を超えていました。さらに同議員はガソリン代の請求が毎月何万円にもなり、ときには月に9万4千円も使っていました。これは一般車なら6000キロ、ハイブリット車なら2万キロ(地球半周)走行できると推定できる金額です。タクシー代、ガソリン代ともに利用内容は明記されていません。

別の議員は、選挙区の世帯数の3倍にあたる広報物の費用を請求。また、別の議員は自宅から最寄り駅まで、年に100回以上も「タクシー通勤」。他にも競馬場の駐車券、温泉の入湯券、バスの1日乗車券、居酒屋での会合費などなどの領収書、中には海外旅行もバリ島2泊3日というものまでありました。

政務活動費に名前や利用内容を書くことは東京都ではすでに行われていることです。神奈川県議会の「政務活動費の指針」ではその必要がないのが問題なのです。そんな中で、一部の議員は政務活動費を「お小遣い」のごとく使っているのでは、という疑念が起きてきます。

(「神奈川県議会の政務活動費をただす会」事務局 瀬谷昇司)

政務活動費支出伝票	
所属区分	調査研究費
支出年月日	平成 27 年 10 月 3 日
支出額	500 円
用途及び内容	
定例会(駐車場利用料)	
指分による支出の場合の記載事項	
- 全体の経費 (500 円) A	
- 指分の率 (100%) B	政務活動費の支出額
A x B =	500 円
《領収書等証拠書類の添付欄》	
川崎競馬場 駐車場	
名称 川崎競馬場	
領収書 No.	A 00002
発行日	2015年10月 3日
金額	500円
お釣	0円
合計	500円
上記に領収しました。	

写真は「政務活動費支出伝票」1枚全体を写したものの。川崎競馬場駐車場の領収証が貼られている。

F35岩国配備は16機 一昨年8月米国外初 不発弾が出て工事が大幅に遅れ 2018年の秋に？

【伊江】米軍伊江島補助飛行場内にある強襲揚陸艦の甲板を模した着陸帯「LHDデッキ」の改修工事が始まった。飛行場のゲートから基地内に入った。



島袋秀幸村長は「これまで言ってきたように、工事の詳細な情報の提供がない中では中止を求める立場に変わりはない。着工は誠に遺憾だ」と言及。今回の改修工事でおおよそ2倍の10万7140平方メートルになる。海兵隊のF35B戦闘機と2017年に空軍横田基地へ配備予定のCV22オスプレイも収容できる駐機場も整備する計画で、近隣住民の基地負担が増加する可能性がある。辺野古の事は東京の新聞も書きますが、かつて宮古&八重山諸島の状況が早く伝わらず、基地強化を押し返せない状態になっています。まだ、そこまで行っていない伊江島を先に報告します。

工事で基地内に入る関係車両＝ 22 日午前8時頃、米軍伊江島補助飛行場ゲート前。

まだ、そこまで行っていない伊江島を先に報告します。

(久保 博夫)

〈 報 告 と お 知 ら せ 〉

沖縄県内の統一地方選挙日程ほぼ決定！？

沖縄県知事選 11月18日

那覇市長選 10月21日

名護&宜野湾市等16の自治体議員選挙 9月9日が中心、知事選に出る宜野湾市長選も同日か知事選と一緒に？

名護市の様に、自民&公明党が全国動員で金と権力で締め付けます！？名護市議選で公明党は2月に全国から集めた知人票で一人増やします。知事選が保守分裂の可能性も？市民も微力でもカンパと知人などに依頼をして下さい。(手伝いに行ける人は、久保が行く8月30日～9月6日に来ませんか？10月&11月も行く予定) (久保 博夫)

9条の会メーリングリストを充実させよう

ふじさわ・九条の会にはメーリングリスト(ML)があります。MLにイベント告知などを投稿すれば、登録者全員にメールが届き手早く周知できます。ニュースの配布者は約570名ですが、MLの登録者は55名です。更に有効ならしめる為に、皆さんのアドレスを管理者に「ML登録」と表記してお送り下さい。携帯アドレス可です。携帯のCメールは不可です。PCや携帯電話をお持ちの方はこの機会に是非アドレスを取得して下さい。(吉塚 晴夫)

送付先アドレス(管理者 高須賀さん)

ezetakasuka2@gmail.com



ふじさわ・九条の会 13周年の集い

4月30日藤沢市民会館小ホール

ハ法亭みややつの

国からうろこの憲法嘯！ 333名

パレード:約150名楽しく歩きました。

ご協力ありがとうございました。



ふじさわ・九条の会全体集会(総会)

6月3日藤沢市民会館第2会議室

17年度の活動と会計の報告が行われました。続いて18年度の活動方針と計画が話し合われ承認されました。

10月学習会

日時: 10月26日(金)18:30～

会場: 藤沢市民会館

第2展示ホール

講師: 検討中

ふじさわ・九条の会 13周年の集い

2018年4月30日 上浦孝彦さん撮影